

こんな有害鳥獣(イノシシ、ニホンジカ等の野生動物)の
被害・問い合わせが発生していませんか？

有害鳥獣の被害で
お困りの農家の方

イノシシやシカの被害が年々増えて深刻。
個人で対応するには限界があるから
何とかしてほしいんだけど。。



有害鳥獣の捕獲に
ご協力いただく方



頼まれて捕獲するのも負担が大きいんだよね。
捕獲したイノシシ等を売ったり、
自分で利用するにも限りがあるし、
捕獲した個体の後始末のことも考えると厳しいね…

有害鳥獣の処理に
お困りの場合

鳥獣被害の相談を受けて、捕獲してもらったは
いいけど捕獲した個体の処理って
どうすればいいんだろう？
埋める土地も人員も余裕はないし、困ったなあ。。



軟化処理設備に関するお問い合わせは下記まで

環境省 福島地方環境事務所 廃棄物処理施設運営管理室

024-563-6954

※有害鳥獣の被害対策については都道府県にお問い合わせください。
また、鳥獣被害対策に関する制度全般については下記URLを参照ください。
<https://www.env.go.jp/nature/choju/img/syochu.pdf>

有害鳥獣の 適正な処理を 促進するために



有害鳥獣(イノシシ等)軟化処理設備のご紹介

 環境省
Ministry of the Environment

捕獲した有害鳥獣（イノシシ等）を微生物の働きで 分解を促進し、焼却に適した状態まで 軟化させ焼却処理できます。

近年、急速にイノシシの生息数が増加し、全国で分布を広げています。これにより、日本全国で生態系や農林業、さらには私たちの生活にまで深刻な被害をもたらしています。

対策として捕獲数を増やしていく必要がありますが、捕獲後の個体の処分が問題になることがあります。たとえば、従来行われている仮埋却ではおおいの問題や、埋める場所が足りないという問題があります。また、高齢化が進む地域では埋める作業の負担も深刻です。

有害鳥獣軟化処理設備では、捕獲したイノシシ等を集約して、簡易かつ迅速に処理を行うことができます。



●軟化処理のメリット

簡単で早い前処理

大型の鳥獣でも速やかに分解され
体積が小さくなるため、
通常の焼却炉でも簡易に処理ができます。

場所や臭気の課題解消

1箇所に集約して処理するため
仮埋却の場所の選定や
おおいの問題等が軽減されます



●軟化処理の流れ



投入

処分する対象鳥獣を
軟化槽に投入します。

有害鳥獣等埋設後の菌床内温度は、
微生物の働きにより 60℃以上まで上昇しており、
分解が促進されています。



軟化槽
イノシシなどの
有害鳥獣

約1週間後



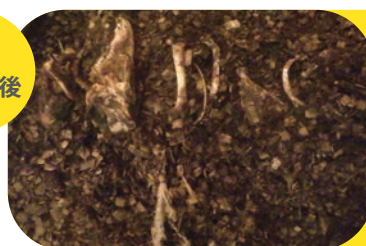
かく拌

軟化槽内をかく拌し
分解処理を促進します。

かく拌時の有害鳥獣等の状況では、
大きな組織は見あらず、
若干肉片の付いた骨が露出している状況。



約2週間後



残さ選別・焼却

軟化処理後の残さを
焼却処理します。

残さ選別・焼却時の状況を確認すると、
肉が分解されてほとんど骨と皮だけになり、
焼却に適した状態となっています。



●有害鳥獣軟化処理設備における処理実績（福島県浪江町仮設焼却施設内）

6,457 kg 約1ヶ月で 410 kg

多量の鳥獣を短期間に処理できる

2週間で焼却前処理が完了 / 約7ヶ月で 約2,000頭（47t）

設備の設置が容易

軟化槽	菌床	牛ふん	木材チップ	混合後水分
鉄筋 コンクリート造	45t	23t	55~65%	

※7ヶ月間に一度、菌床を交換し、使用済みの菌床は焼却炉で処理（処理状況によって頻度は変動あり）

●放射性物質を含む有害鳥獣等の処理について

イノシシ等の有害鳥獣から放射性物質が検出される地域もあり、処分にあたっては適切な放射性物質対策を講じる
ことが必要となる場合があります。放射性物質濃度が 8,000Bq/kg を超え、指定廃棄物に該当するものについては、
環境省にて適切に処分を行います。



軟化槽（3槽）
軟化槽は1槽でも設置可能



脱臭設備
悪臭は吸引し、焼却炉に吹き込み高温で分解

設備設置図

